

①AI相談パートナー

〈導入背景・業務の課題〉

- 年間約1500件の健康相談対応
- 長時間の電話対応
- 記録作成の負担が大きい
- ベテラン職員の退職と世代交代
- 相談内容の複雑化・複合化

〈内容〉

- 相談内容のテキスト化
- 相談中のキーワード検知による相談対応ガイドのポップアップ表示
- テキストデータを利用した要約機能・相談記録票作成支援
- 相談記録票の管理・共有

〈導入効果〉

- スピーディーな引継ぎ・共有
- 相談記録の振り返りによる困難ケースへの対応スキル向上
- 相談記録にかかる時間の短縮
- ガイダンス機能による相談の質向上



相談対応の質向上
業務効率化

PC上に表示される画面のサンプル

A10 会話記録

ライセンス使用: 1/7 データ容量: 2.1 / 120GB

種別 会議記録 | 相談記録

開始日時 2024/10/22 11:24 相談者

終了日時 2024/10/22 11:24

AI要約画面 記録台帳 記録設定

音声をリアルタイムに文字データ化

ヒアリング事項

発言内容 【 混込除去 (2CH) 】 話者設定 マイクを2本使用 録音あり

重要文抽出 編集 文字置換

開始 停止

そうですね心配ですのですね。 11:29:17

未登録(3921) 11:29:20 そうなんですよね。うん、わかりました。はい。

わかりました。 11:29:22

1日の [] 病院の受診終わった頃また次の日とかに私の方からお電話させていただきますので、またその時、今日聞かなくてはいけません。

未登録(3921) 11:29:27 うん。

未登録(3921) 11:29:30 うん。

未登録(3921) 11:29:31 うん、はい、わかりました。はい、よろしくお願いします。はい、はい。失礼します。

ガイダンス

抑制

初任 判断・情報 ガイダンス検索

- 心配
- アルコール
- 認知症

キーワードを検知しガイダンス表示

②健康アプリ「ながおかウェルネスチャレンジ」

部外秘
取扱注意

● 健康アプリ導入の基本的な考え方

現状

脳血管疾患

SMR(人口10万人対の標準化死亡比)は、国と比較し経年的に高く推移
40～64歳の、介護認定原因疾病の54.9%
患者のうち、8割が高血圧症

- ・ 透析患者のうち「糖尿病」は半数以上

課題

- ・ 高血圧・糖尿病による疾病負荷が大きい
- ・ 塩分摂取量が多く、壮年期男性の野菜摂取量の不足
- ・ 20歳から64歳までの1日の平均歩数5,700歩

目標

- ・ R6年4月スタートの「第3次ながおかヘルシープラン21」において、20歳から64歳までの1日の平均歩数の目標値を、国に合わせ8,000歩とする。

取組
手法

- ・ 【健康アプリ導入】無料アプリで裾野を幅広く全市民に展開。働き盛り世代や、健康づくりへの無関心層に対し、継続的な運動習慣の定着につなげる。
- ・ 【インセンティブ付与】行動変容を促すため、運動行動により健康ポイントが貯まり、一定のポイント達成者へは、ながおかペイにインセンティブを還元
- ・ デジタル地域通貨ながおかペイの利用促進の相乗効果も図れる。

～R5
前「第2次
ヘルシー
プラン」
最終評価

アプリ基本構成① トップ画面



保有ポイント

- ・最新保有ポイントを確認
- ・ポイント数をタップすると獲得・利用の履歴を確認

本日の記録

- ・今日の歩数を円グラフで表示
- ・「カロリー/BMI」をタップすると過去分を含めた日別の消費・摂取カロリーの履歴を確認
- ・「歩行距離」をタップすると過去分を含めた日別の歩行距離の履歴を確認
- ・「朝食」「昼食」「夕食」「体重」をタップすると、各記録の登録を確認

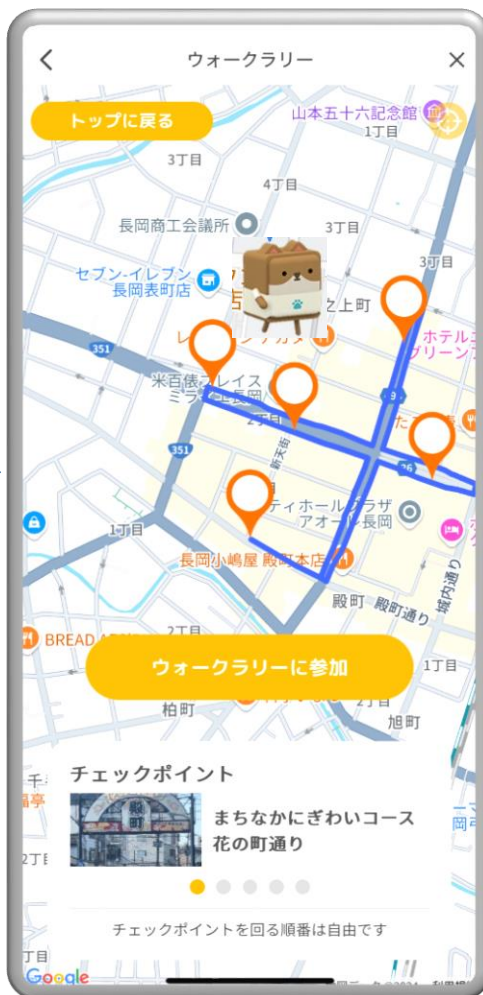
お知らせ

- ・イベント開催などの周知
- ・システムメンテナンス 等
- ※ ウェアラブル端末(スマートウォッチ)にも通知が届く。

ライフログデータの履歴記録画面に遷移
(各種記録画面参照)

アプリ基本構成② ウォークラリー

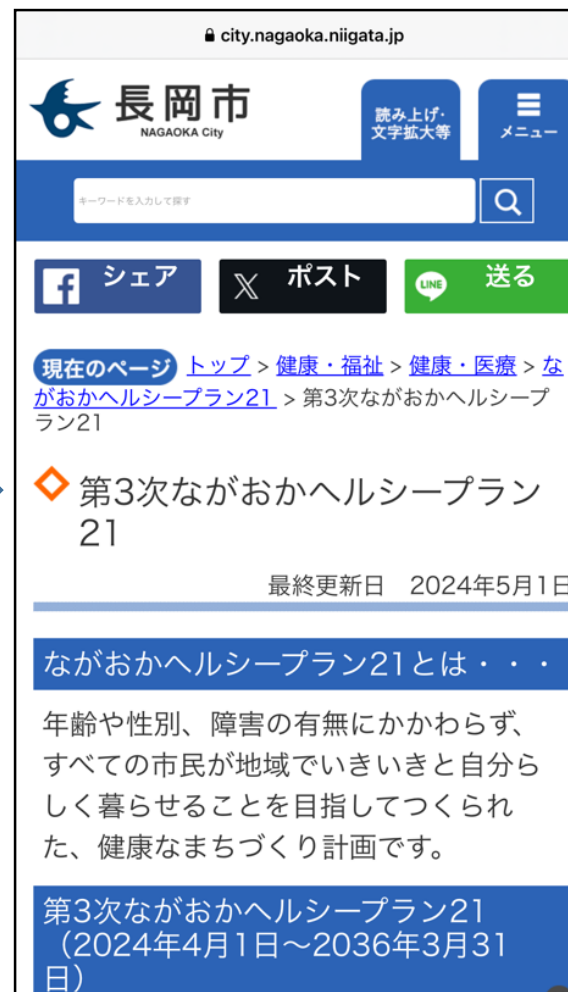
- 長岡市が従来から健康づくりのため独自に作成し使用しているウォーキングマップを、アプリ内のウォークラリーコースに設定しデジタル化を図る。
- 各コースには市の歴史や文化、自然に関するチェックポイントがあり、楽しみながら歩くことができる。



チェックポイントで「チェックイン」をし、全てのチェックポイントにチェックインすると「ゴール」となる。

アプリ基本構成③ 啓発・情報発信

- 長岡市が取り組む健康に関する計画や事業を掲載。
- 市の記事・動画の掲載するほか、標準で約90種類の記事・動画が用意されている。
- 健康講座やイベントなどの周知に活用。



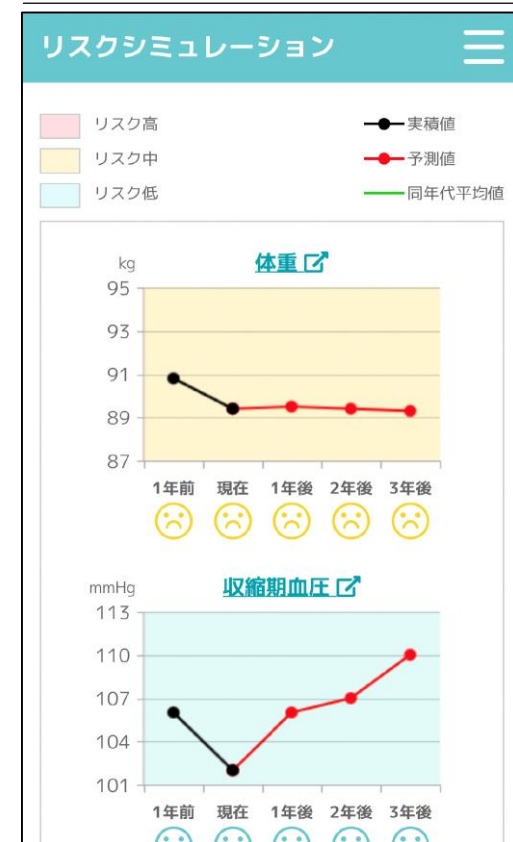
アプリ基本構成④ マイナポータル連携（PHR）

- マイナポータルと連携し、医療保険情報を取得・参照することができ、恒常的なモチベーション意識を保持することができる。
- 取得した情報で、健康診断の未来予測をシミュレーションできる。

① マイナポータルからの医療保険情報を取得・表示



② 取得した情報で健康診断結果予測シミュレーション



- 取得可能な医療情報
- ・健康診断結果
- ・処方薬情報
- ・医療費情報

インセンティブ付与 ながおかペイとの連携



- 健康アプリで貯めた健康ポイントは「ながおかペイ ポイント」へ交換。
- 一定数の健康ポイントを貯めた方には、1人あたり一律500円分のながおかペイポイントを通常ポイントとして付与。(先着3,000人)



API連携



参加者はアプリ上で健康ポイントをながおかペイポイントへ交換することができます。



アプリ導入による長岡市の将来像

健康意識の向上

健康行動・成果の見える化

健康情報の一体的な管理

生活習慣の改善

一日の平均歩数の増加

運動習慣の定着

食生活習慣の改善

高血圧・糖尿病の医療費の抑制

働き盛り世代の健康改善

生活習慣病の発症・重症化予防

長岡市民全体の健康寿命の延伸と健康格差の縮小

脳血管疾患・透析患者の減少

医療費・介護給付費の減